

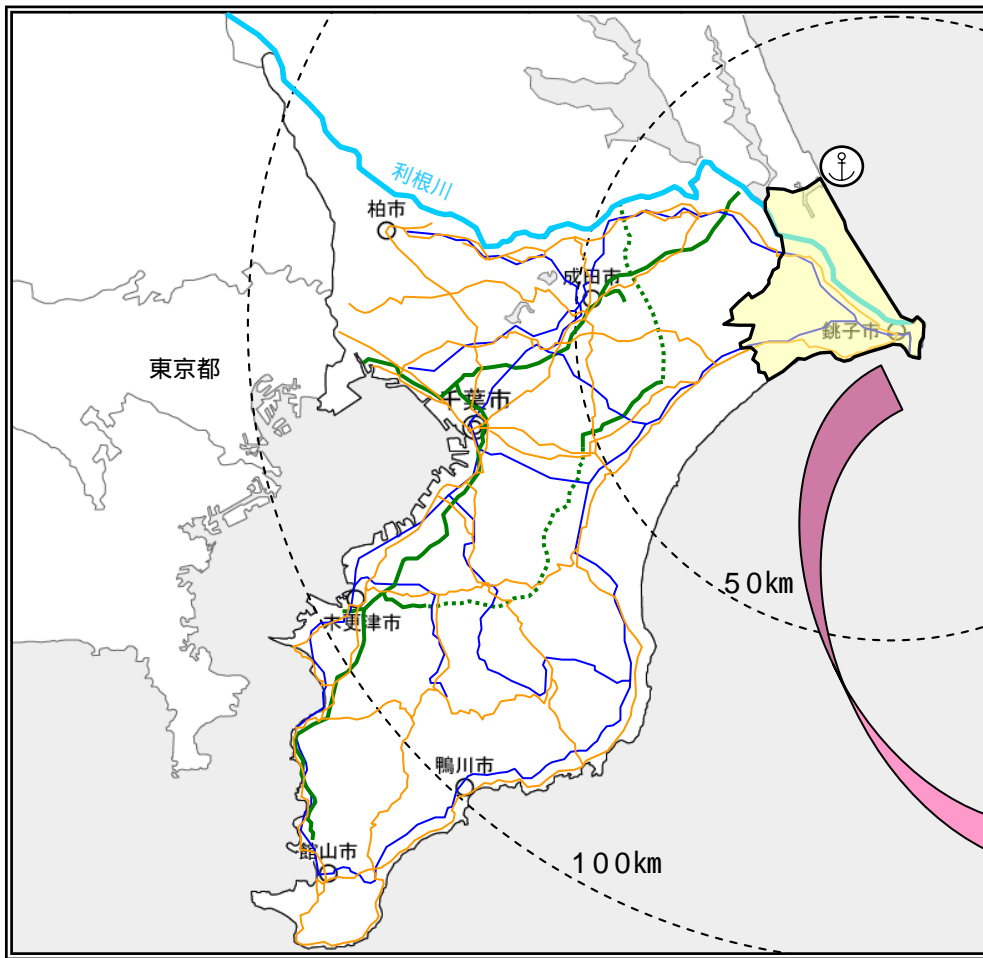
# 21世紀生活圈研究会 試行的調査(銚子地域)

---

関東地方整備局  
平成20年12月16日

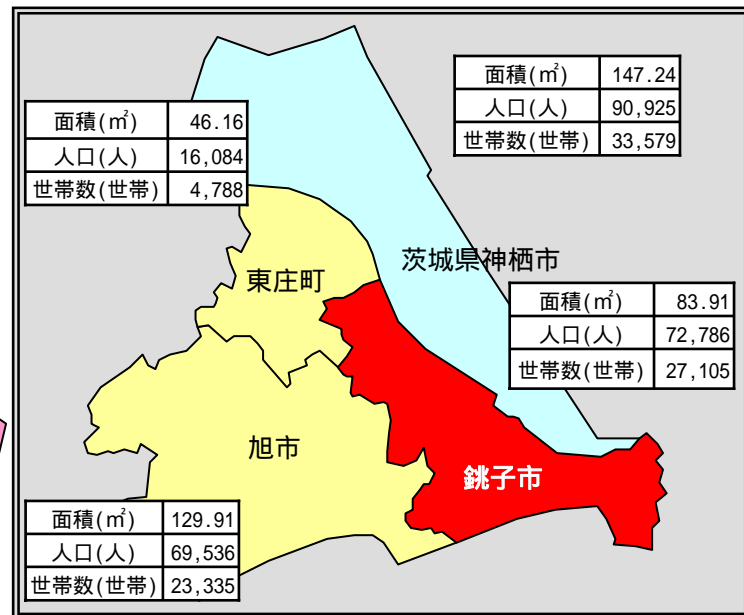
# 銚子地域の概要(1) 地勢・人口・世帯・面積

- ・銚子地域は東京から100km圏内・関東平野の最東端に位置
- ・太平洋と利根川に面し、海洋性の温暖な気候



- 高規格幹線道路
- 一般国道
- 鉄道

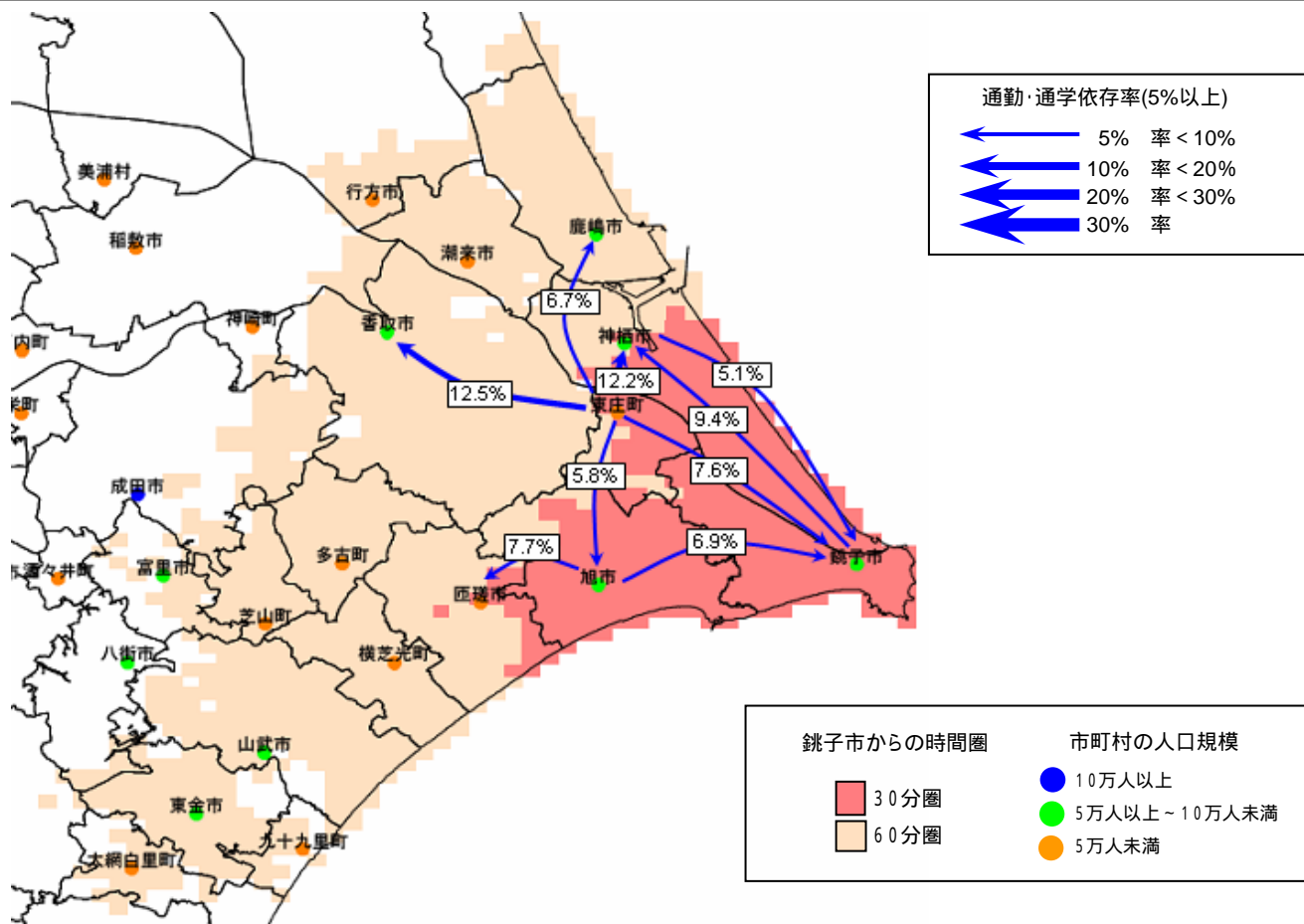
- ・銚子地域: 銚子市、旭市、東庄町、茨城県神栖市<sup>とうのしょう</sup>の3市1町<sup>かみす</sup>
- ・人口: 約25万人 (平成20年3月31日時点)
- ・世帯: 約89,000世帯 (平成20年3月31日現在)
- ・面積: 約407km<sup>2</sup>



出典: 面積: 総務省自治行政局、「全国市町村要覧」  
 人口、世帯数: 総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」

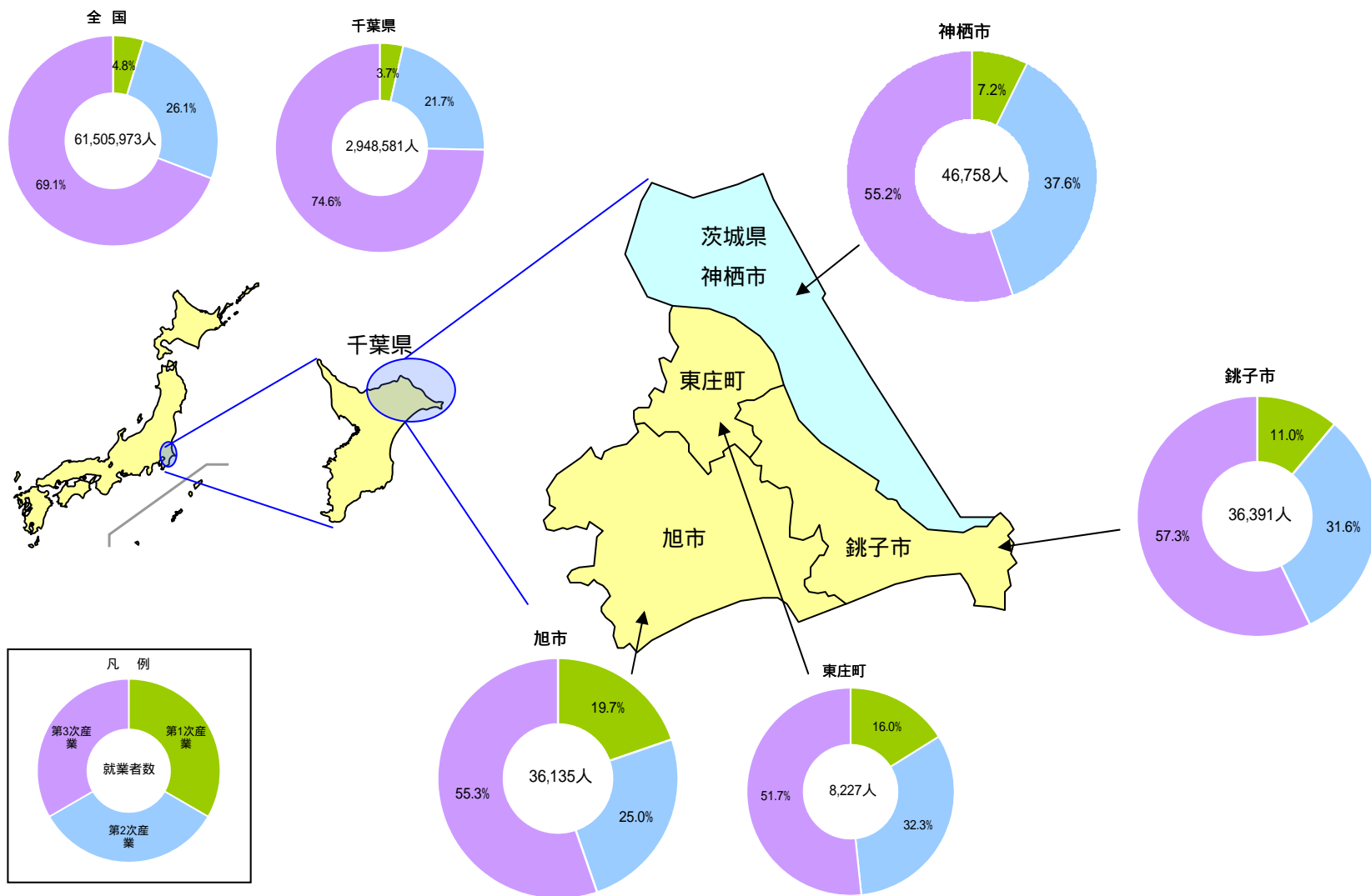
# 銚子地域の概要(2) 通勤・通学率と時間距離

- ・銚子市からの交通30分圏は、旭市、東庄町、神栖市
- ・銚子市からは、神栖市への通勤・通学依存率が最大
- ・また、神栖市からも銚子市への通勤・通学依存率が最大
- ・一方、東庄町は香取市・神栖市、旭市は匝瑳市への通勤・通学依存率が大きく、複数の都市が機能を分け合う構造



# 銚子地域の概要(3) 産業構造の特徴

・銚子市、神栖市、旭市、東庄町は全国・千葉県と比べて、第1次産業、第2次産業の就業者シェアが大きい



# 銚子地域の概要(4) 高齢化の進展

- ・銚子市、旭市、東庄町、神栖市の中で、銚子市は現状及び将来予測とも、高齢化率が最も高く、また将来人口の減少率も最大であることから、今後の生活機能の確保が課題
- ・そこで、まず銚子市を対象を絞り、人口の動向、産業の概況、地域の課題・強みを整理

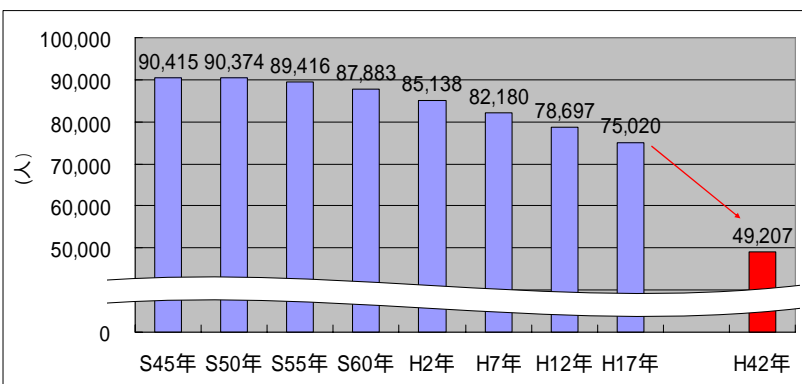
銚子市・旭市・東庄町の人口・高齢化率の現状と将来予測

地域	平成17年		平成42年		人口の変化率 (平成17年 平成42年)
	人口(人、全国のみ千人)	高齢化率	人口(人、全国のみ千人)	高齢化率	
銚子市	75,020	25.9%	49,207	36.4%	-34.4%
旭市	70,643	22.1%	60,046	32.6%	-15.0%
東庄町	16,166	24.5%	12,403	35.2%	-23.3%
全国	127,768	20.1%	115,224	31.8%	-9.8%

平成17年人口・高齢化率は、平成17年国勢調査結果による。平成42年人口・高齢化率は、銚子市・旭市・東庄町については市区町村別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所平成15年12月推計)、全国については日本の将来推計人口(同研究所平成18年12月推計)による。

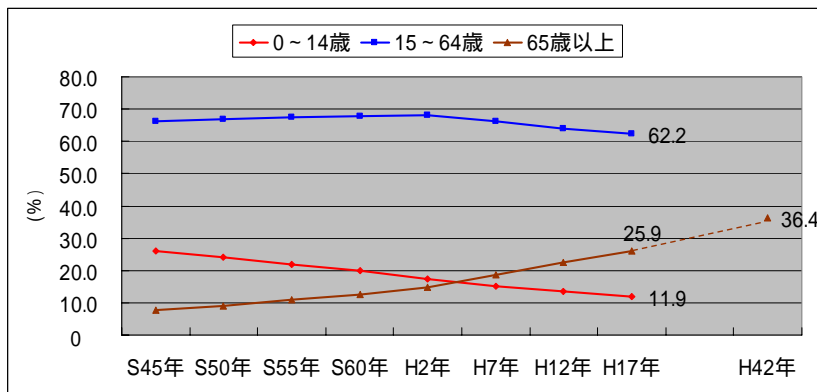
出典:千葉県市町村合併推進構想(H18.12)概要版を改訂

銚子市の人口の推移(H42年は予測)



資料:銚子市統計書、平成42年の人口は、市区町村別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所平成15年12月推計)

銚子市の年齢階層別人口割合

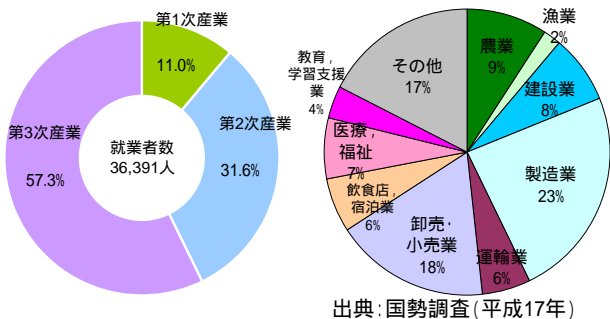


資料:銚子市統計書、平成42年の65歳以上人口は、市区町村別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所平成15年12月推計)

# 銚子市の農業・漁業の概況

## 産業構造 (就業者数)

・銚子市では、第一次産業就業者数の比率が全国平均(4.8%)の約2.3倍  
 内訳) 農業就業者数が3,357人(9%)  
 漁業就業者数が661人(2%)



## 農業

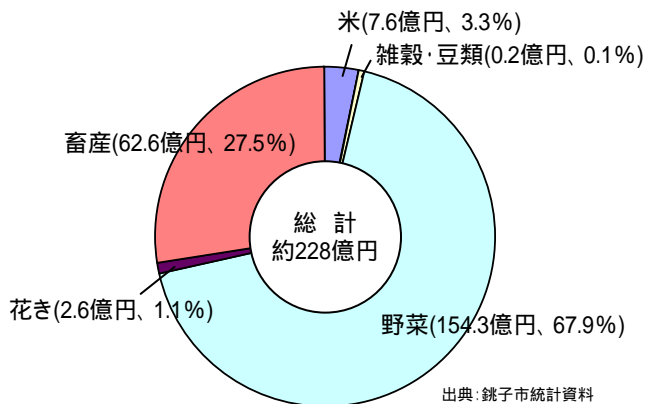
・農業産出高の約68%が野菜  
 ・主な生産物は、キャベツ、ダイコン等

### 農業産出額

・千葉県: **全国第3位** (4,014億円・H18年)  
 ・銚子市: **県内第3位** (約228億円・H18年)

出典: 農林水産統計

### 銚子市農業産出額(平成18年)



## 漁業

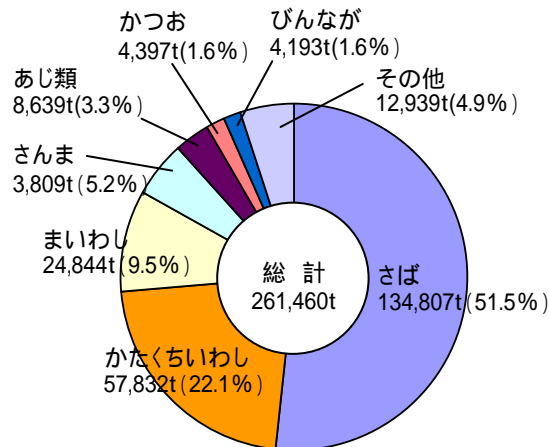
・銚子沖合いは、黒潮と親潮の合流する変化に富んだ豊かな漁場

・銚子漁港は、全国の主要漁港の中で水揚量が最大

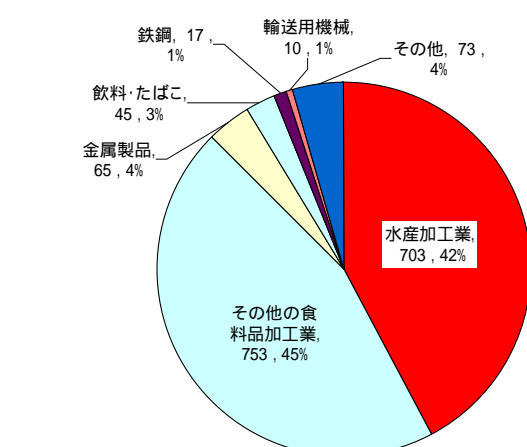
・主要な水揚魚類はさば、かたくちいわし等

・水産加工業も、冷凍水産品を中心に約700億円を出荷、漁業・水産加工業で合計約1,000億円。

### 銚子漁港水揚主要魚種(平成18年)



### 銚子市の産業別製造品出荷額 (平成18年、億円)



### 銚子漁港の位置づけ

出典: 銚子市統計資料

・水揚量: **全国第1位** (261,462t・H18年)  
 ・水揚額: **全国第6位** (約252億円・H18年)

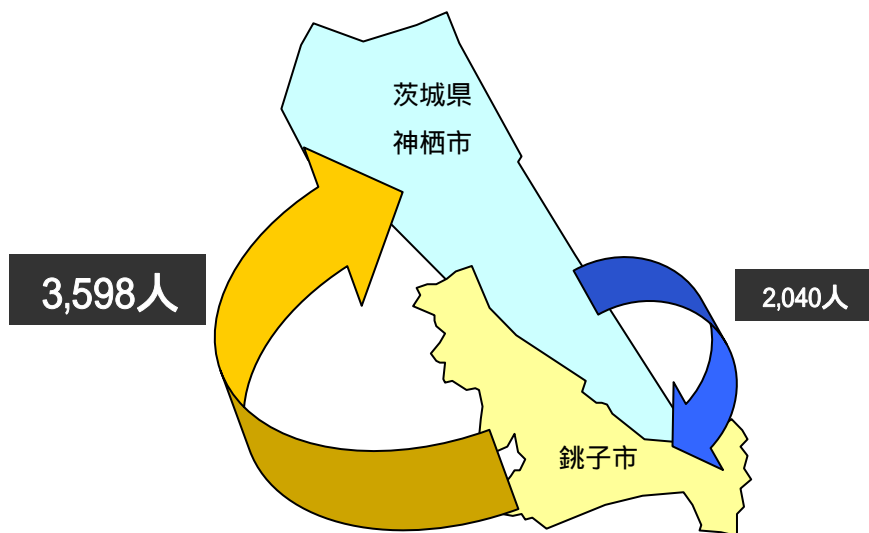
出典: 銚子市統計資料

出典: 銚子市統計資料

## 関係者へのヒアリングにより以下の意見が得られている

- ・多くの漁船が入港するが、水揚げの8割は廻船(銚子以外の港を母港とする漁船)によるもの  
昔ほど廻船の船員が市内でお金を使わなくなった(経済波及が低下)
- ・魚価を生産者が決められず、魚価が市場に大きく変動される 漁師が儲からない
- ・危険と設備投資に見合った収入が得られない 後継者不足と高齢化が進む
- ・製造業、卸売業等においても、海産物加工や醤油醸造等に依存
- ・工業立地の適地がなく、働き場所を求めて神栖市等(鹿島臨海工業地帯)に流出
- ・新たな業種の進出は少なく、醤油工場も市外での加工により一部機能が流出  
(大手醤油メーカーが成田新産業パーク(東関道大栄IC付近)に、新工場建設用地を取得)

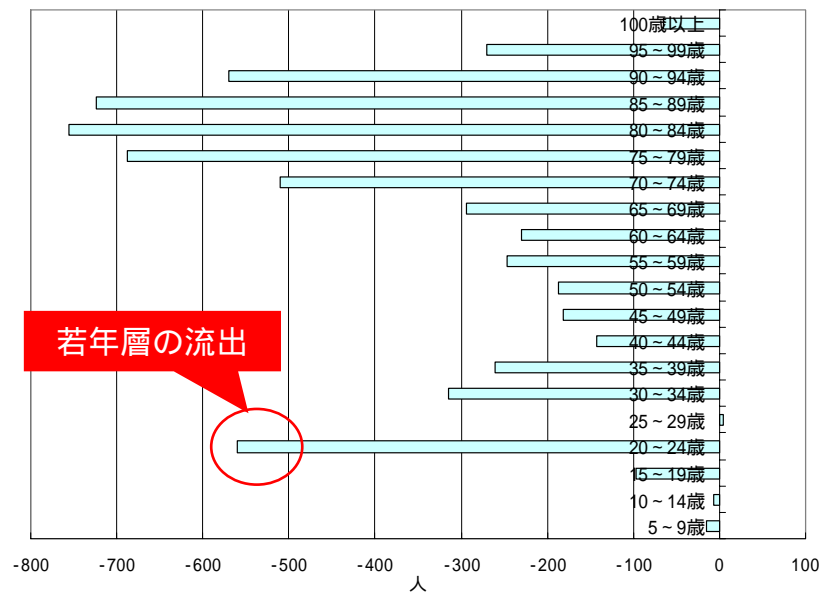
15歳以上就業者の流入、流出状況(平成17年10月1日現在)



出典: 銚子市統計資料

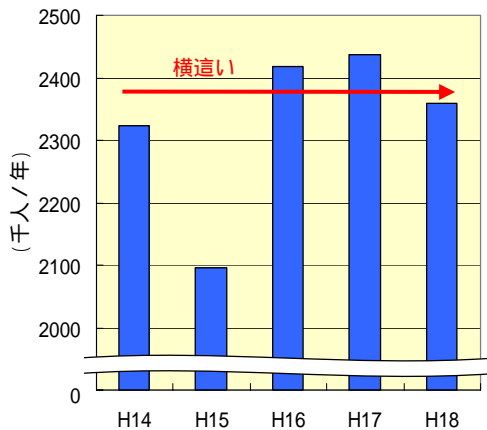
銚子市の人口増減(平成12年 平成17年)

年齢は平成17年時点のもの。平成17年の各年齢階層の人口から平成12年の5年遡った年齢階層の人口を差分したもの(例:平成17年の5~9歳人口-平成12年の0~4歳人口)

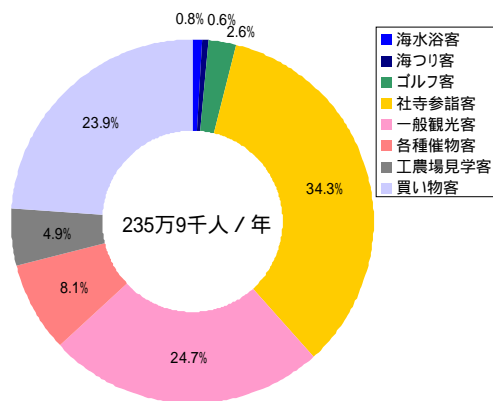


- ・観光入込客数は、200万人～250万人でほぼ横這い
- ・社寺参詣客、一般観光客、買物客が占める比率が高く、観光入込客の約90%が日帰り客
- ・灯台印キャベツ、近海マグロ、外川のキンメなど豊富な食材の知名度と、銚子市のイメージが直結しない
- ・銚子電鉄を活用した観光資源を有機的につなぐ方策等、地域資源のブランド化と、さらなる情報発信が必要

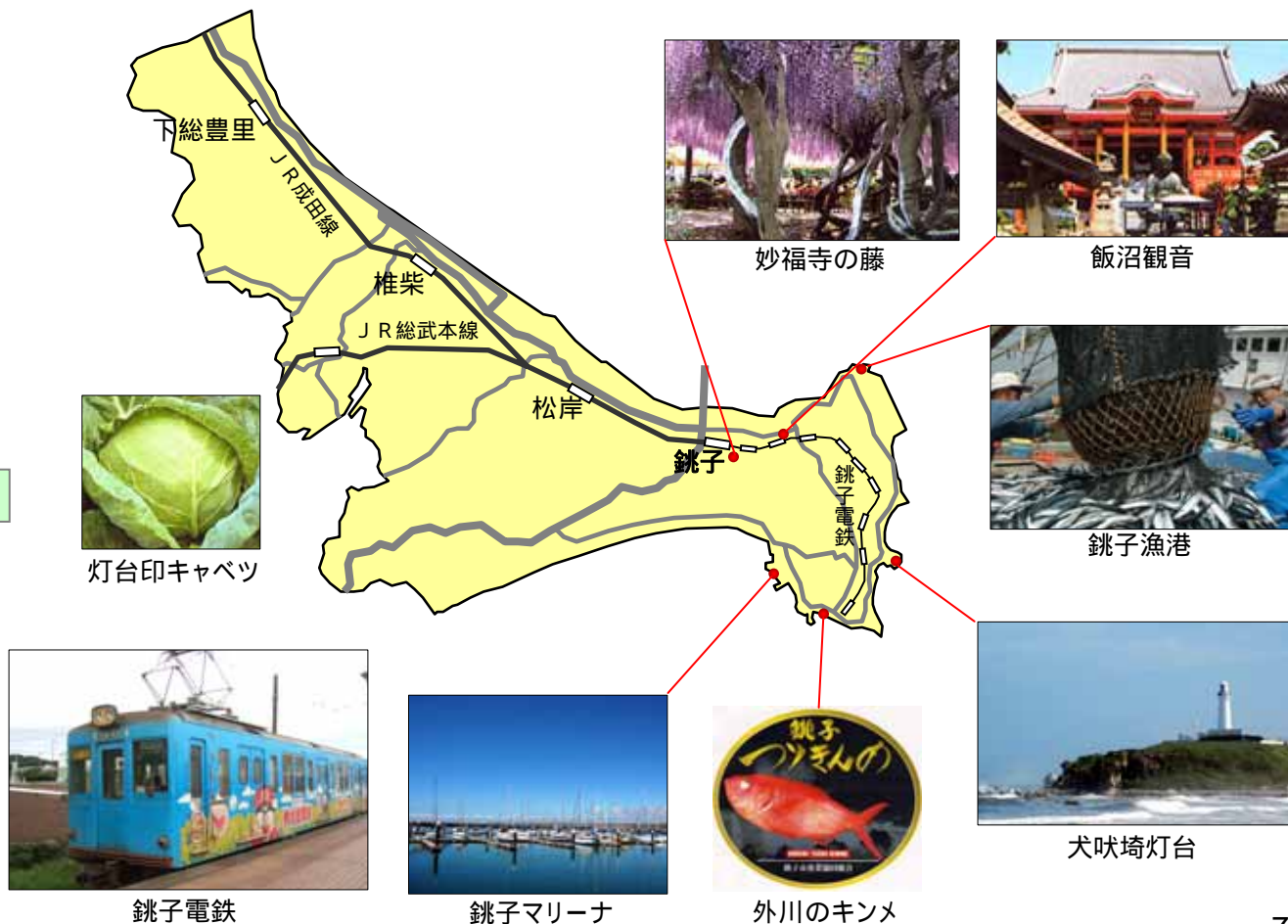
銚子市の観光入込客数の推移



銚子市の観光入込客数の内訳 (平成18年)



銚子の主な観光資源等の配置

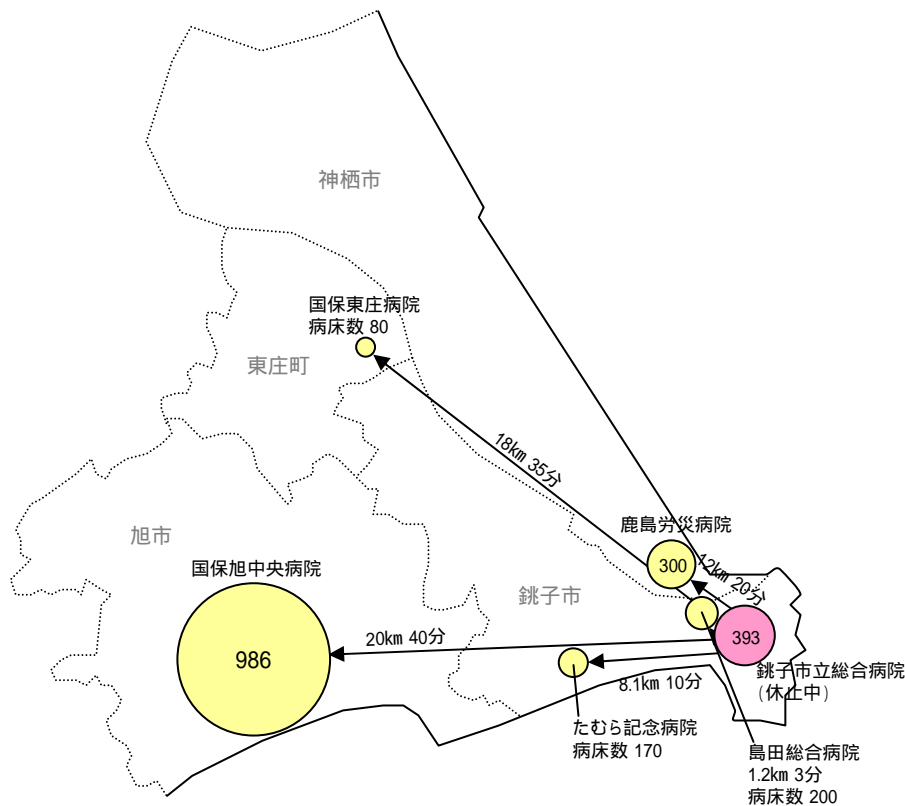




# 銚子市の課題 地域の核としての吸引力の低下

- ・鹿島臨海工業地帯の開発、周辺地域の発展等により、雇用、商業の核が周辺地域に移動。
- ・銚子市の地価が高止まりしており、住宅開発も周辺地域において活発。
- ・銚子の市立病院が医師不足等により休止。

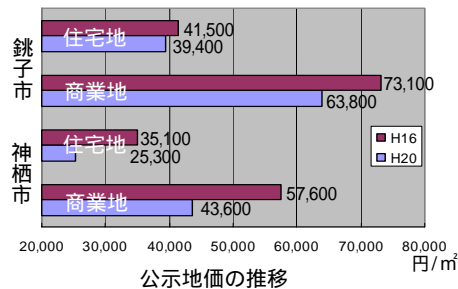
## 周辺地域の総合病院立地状況



銚子市立総合病院と主な近隣病院の位置関係  
(印の大きさは病床数を表す)

出典：2006関東病院情報

## 銚子及び周辺地域の地価の推移

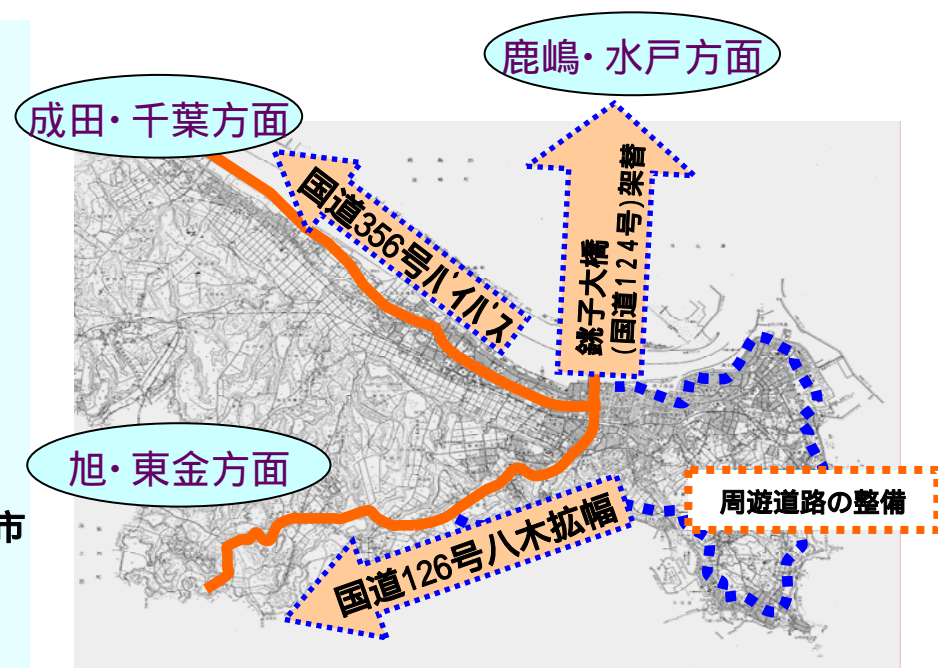
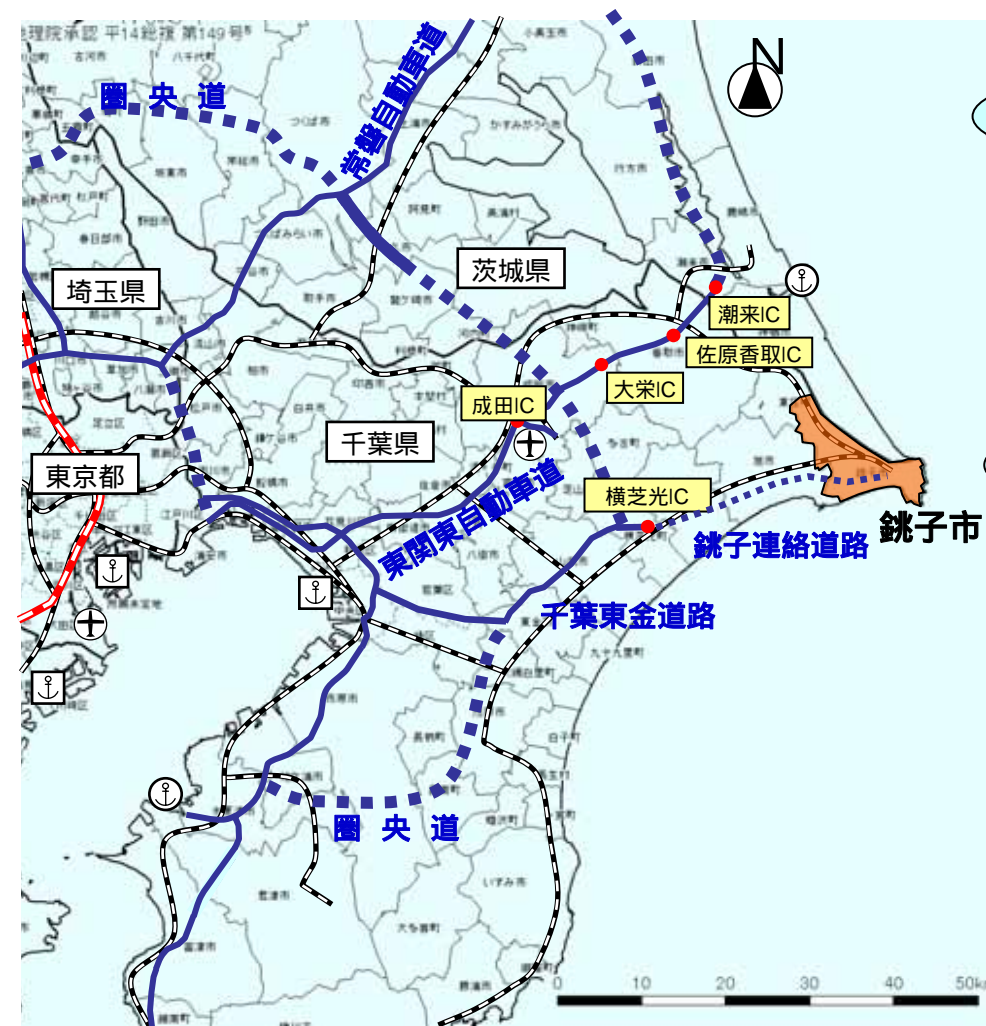


出典：千葉県・茨城県ホームページ

## 周辺地域の千葉県の主な施設配置状況



# 銚子市の課題 交通：半島性に起因する便の悪さ



- ・東京～銚子間は特急電車で最短約2時間(1日に往復15本)、普通電車も1時間に1本程度
- ・最寄の高速道路ICまでのアクセスが悪く、鮮魚輸送に支障(東関道佐原香取ICまで約1時間、築地までは合計2時間以上)
- ・銚子から東関道大栄IC付近の成田新産業パークに醤油工場の機能が一部移転予定

## 銚子市の強みと弱み

### 強み

温暖な気候  
豊かな漁場  
大消費地への近接性を生かした漁業・農業  
豊富な食材・観光資源

### 弱み

人口減少・少子高齢化  
中心市街地の衰退  
儲からない漁業  
高規格幹線道路へのアクセスの悪さ

## 課題

1.雇用の場の不足

2.若年層及び働き盛り世代の減少

3.地域機能:  
周辺市町へ機能が拡散

4.地域資源:  
発掘・発進力が不足

5.半島性に起因する交通の便の悪さ

## 方向性と具体策

### 1)銚子の強みを生かした地域づくり

日本一の漁獲量を誇る漁業の後継者育成、流通システムの再構築  
豊富な観光資源を積極的に情報発信した交流人口の呼び込み  
農林水産品のブランド力を強化した市場の拡大

### 2)産業活性化による雇用の確保

・地域資源を活用した雇用の場の創出

### 3)I・Jターン、二地域居住の推進、観光促進による交流人口の拡大

行政、企業、NPO等が連携した取り組み  
交通ネットワークの強化

### 4)医療・教育等基幹的サービスの確保

地域として連携した医療体制の確保  
教育機関の中心的な役割の継続